

一般財団法人 国際協力推進協会
平成 26 年度事業報告書

I. 実施事業等会計

1. 太平洋島嶼国開発協力事業

- (1) ディーゼル発電整備メンテナンス研修事業
- (2) 「ミクロネシア・チャレンジ」に対する支援
- (3) 太平洋諸島展&フェスタ 2015

2. 日・カリブ友好協力事業

3. 国際協力に関する講演会事業

- (1) APIC カントリー情報早朝講演会
- (2) 国際協力懇話会の開催

I I. その他会計

ミクロネシア連邦ザビエル高校留学生奨学金事業

I I I. その他の事業

平成 26 年度事業の内容

I. 実施事業等会計

1. 太平洋島嶼国開発協力事業

(1) ディーゼル発電整備メンテナンス研修事業

実施期間 2014 年 9 月 1 日～10 日。PIF 加盟 16 か国・地域の先進国を除く 14 の国のうち、サモア、キリバス、クック諸島、ソロモン諸島、ツバル、パラオ、マーシャル諸島の 7 か国及び Pacific Power Association Secretariat よりディーゼル発電整備のメンテナンスに従事する技術者を各 1 名招聘し、三菱重工株式会社及び太平洋電機株式会社に技術研修を委託した。

なお、その後、長年実施している本件研修事業に対する「評価」(evaluation)をめぐって、共同実施団体の海外再処理委員会と協議を行った結果、次年度における APIC 予算計上は見送ることとした。

(2) 「ミクロネシア・チャレンジ」に対する支援

「ミクロネシア・チャレンジ」(ミクロネシア地域の自然環境イニシアチブ)に対する支援については、2014 年 8 月 21 日、ミクロネシア連邦ポンペイ州において、同国を訪問中の荒木恵理事より MCT のコストカ事務局長に 1 万ドルの小切手を手交するプレス発表を行った。今回の APIC の支援により、同年 9 月にサモアにおいて開催された「小島嶼開発途上国会議」、および、10 月に韓国ソウルにおいて開催された「生物多様性条約会議」において小冊子を配布して啓蒙活動が行われた。これらの会議には、各国首脳、閣僚などハイレベルの参加しており、「ミクロネシア・チャレンジ」に対する各国リーダーの理解が深まり、ドナー各国から資金面、技術面において支援が拡大した。

なお、APIC の本件支援は「ミクロネシア・チャレンジ」に参加する同地域 3 ヶ国から高い評価が与えられた。

(3) 太平洋諸島展&フェスタ 2015

日本政府主催の第 7 回太平洋・島サミットが本年 5 月 22 日及び 23 日に福島県いわき市で開催された。APIC は外務省及び国際機関太平洋諸島センターと協議を重ねた結果、その併催行事として 5 月 21 日より 4 日間「太平洋諸島展&フェスタ 2015」を開催した。

なお、5 月 8 日には政府関係者や太平洋島嶼国在京大使・経済界・大学関係者など 100 名超の参加者を集めて、発表会を行い、太平洋・島サミットの意義などにつき意見交換を行った。

2. 日・カリブ友好協力事業

実施機関であるカリコム事務局の事業実施計画が定まらなかったことから、外務省中南米局と協議検討し平成26年度に計画したカリコム事務局への拠出は見送ることとした。

なお、平成27年度については、外務省中南米局及びカリコム事務局の協力を得て、西インド諸島大学との環境協力プログラムを計画している。

3. 国際協力に関する講演会事業

(1) APIC カントリー情報早朝講演会（毎月1回）

平成26年度も下記の通り、外務審議官、局長クラスの幹部を講師として招き、国際情勢、外交、経済に関する講演と意見交換会を実施した。

	開催日	講師役職	氏名	演題
第306回	2014年 7月24日	外務省 国際協力局長	石兼 公博	日本の開発協力 －60年の歩みと今後の課題－
第307回	10月21日	前駐フィリピン特命全権大使	卜部 敏直	最近のフィリピン情勢と日比関係
第308回	11月20日	(公財)日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター所長	樽井 澄夫	台湾情勢について
第309回	12月18日	前駐インドネシア特命全権大使	鹿取 克章	台湾情勢について
第310回	2015年 1月28日	外務省 外務審議官(政務)	杉山 晋輔	日本外交の回顧と展望
第311回	2月19日	前駐南アフリカ共和国特命全権大使	吉澤 裕	南アフリカで考えたこと
第312回	3月25日	外務省 南部アジア部長	山田 滝雄	東南アジア・南アジアの政治経済情勢
第313回	4月22日	外務省 中東アフリカ局審議官	岩井 文男	最近の中東情勢
第314回	5月19日	前駐タイ王国特命全権大使	佐藤 重和	タイ情勢について
第315回	6月18日	外務省 北米局長	富田 浩司	日米関係の現状と展望

(2) 国際協力懇話会の開催

本年度は国際協力懇話会の開催を見送ることとした。

なお、平成27年度においては、7月ミクロネシア連邦モリ前大統領を講師に招いて国際協力懇話会を実施している。

II. その他会計

ミクロネシア連邦ザビエル高校留学生奨学金事業

2014年4月、APIC及び上智大学、ザビエル高校の間でザビエル高校卒業生の受け

入れを取極めた協定(MOU)が締結されたが、いよいよ 9 月、留学生第 1 号として、**Mary Helen Mori** さん(ミクロネシア連邦チューク州出身)が来日、上智大学国際教養学部に入學した。留学生の受け入れのための募金活動も活発に行われ、多くの篤志家などから懇切な募金が寄せられている。

なお、本年 9 月からはザビエル留学生第 2 号 **Risa Oue** さん(同ポンペイ州)が上智大学理工学部で勉学を開始する。

I I I. その他の事業

ホームページの大幅改訂を行い、APIC の情報の提供及び広報を行った。

その他の活動の詳細については、理事長及び常務理事の職務執行状況としてご報告する。